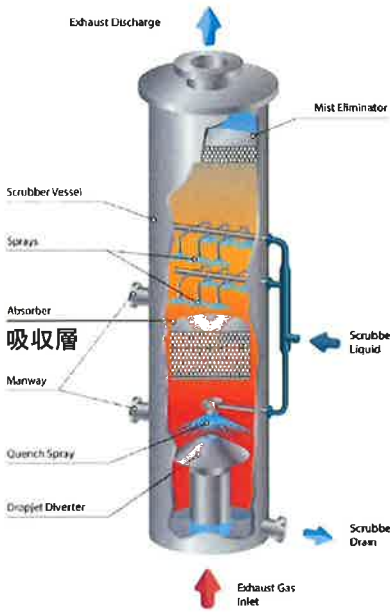


使用する脱硫装置(湿式)

試設計基本要目



**内航フェリー向けの
搭載調査
(3550トンクラス2基2軸)**

<求められる要求>

- 1) 車両搭載区画を削減しない。
- 2) 旅客区域を削減しない。
- 3) 現装艦装数の枠におさめる。

◎インラインオープン型、スクラバー1基箱型を採用する。

主機関 立形運動 4サイクル	出力	2870kW/基 (65%常用)
	台数	2基
補機関	出力	600kW/基
	台数	2基
スクラバー (インライン オープン)	本体寸法	2800mm x 1800mm x 7300mm
	台数	1基
	海水送水管	300A x 60 M
	ドレン管	300A x 40 M

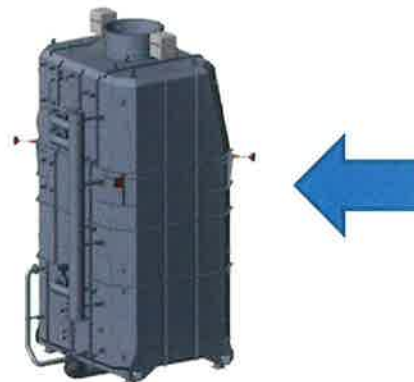
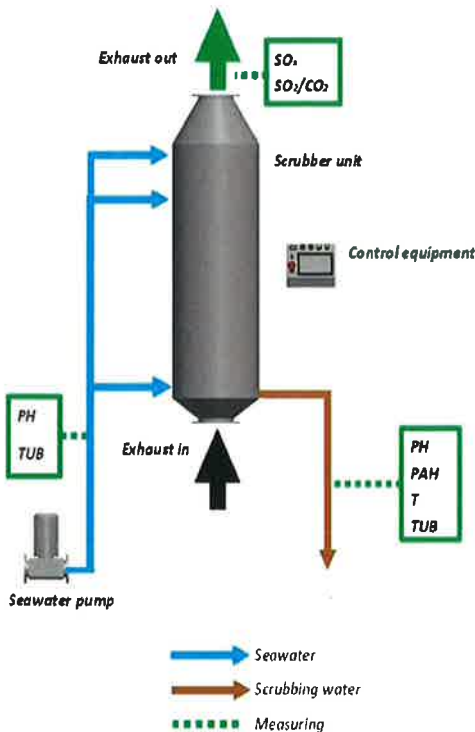
吸収層の有る分、オープンタワー形式よりも、排圧は少し高めだが、吸収層で、洗浄水と排ガスが混合する為、本体の径、全高、形状等、比較的自由度の高い設計が可能。中小型船舶等にも、搭載がし易い。

吸収層で、洗浄水と排ガスが混合する為、ノズルの数量は、比較的少ない上、高圧で噴射する必要が無い為、ノズルへの負担も小さい。

最近の装置では、充填材の交換や充填床のメンテナンスは不要な上、吸収層の有る分PM除去率も高い。

1基にてコンパクトに纏まる為、内航船でも搭載が容易。

主機2基、補機2基を箱型スクラバー1台にて対応

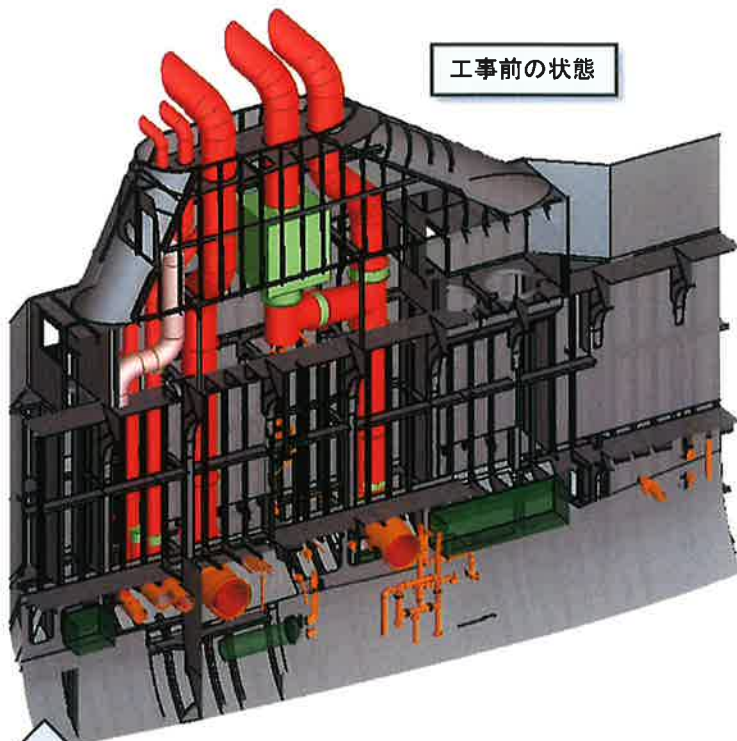


吸収層内部

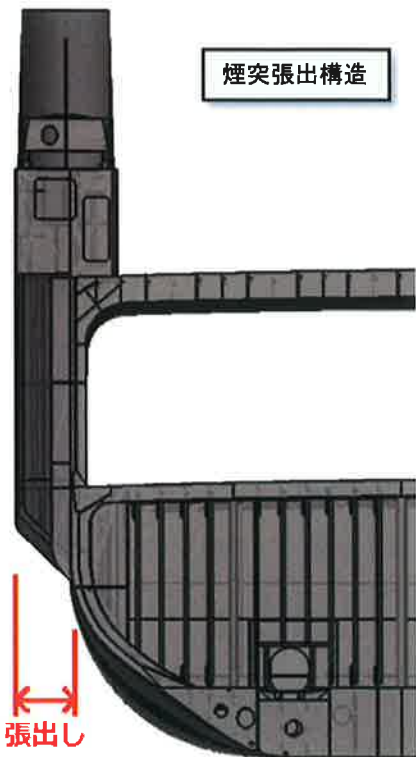


排気管1本





工事前の状態



煙突張出構造

張出し

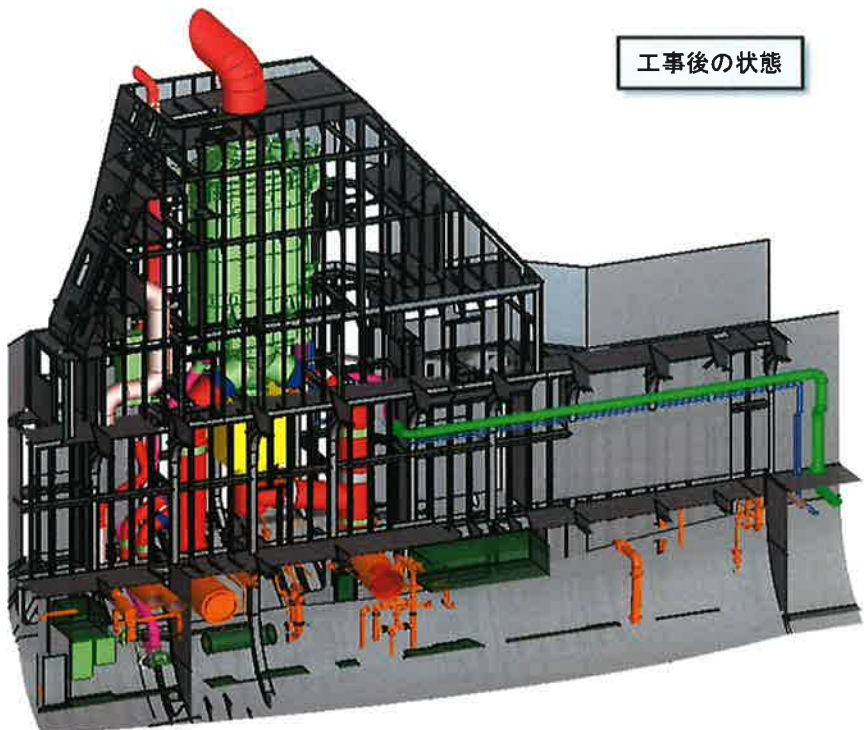
主要改造工事内容

- ①主機サイレンサー撤去
- ②スクラバー搭載
- ③化粧煙突新替
- ④排ガスエコマイザー移設
- ⑤海水ポンプ・配管新設
- ⑥電装工事一式

現状の張出し構造を拡げて排ガスエコマイザーの位置を下げる。又、幅を拡げて化粧煙突を新替えし、スクラバーを設置する。車両区域及び、居住区画の変更は不要。ボイラーは低硫黄燃料を使用する。

調査結果

- 1) 化粧煙突新替
- 2) 張出し構造増設
- 3) 空所内に
電機機器室新設



工事後の状態

